



南部町立南部中学校 学校だより 第20号

# チーム南部中

令和5年1月30日(月)  
校長 望月和彦

## 3年ぶりのスキー教室

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきた1月26日(木)にスキー教室を実施しました。この行事は本来1学年の行事ですが、感染症拡大のために2年間中止になっていたため、町の予算面での支援もあり、今回は1・2年生合同で開催することになりました。10年に1度といわれる最強寒波がやって来ており、天候を心配していましたが、当日は生徒たちの思いが通じたのか、サンメドウズ清里スキー場の天気は快晴で絶好のスキー日和でした。生徒たちはスキーのレベルに応じて9つの班に分かれ、班ごとにベテランのインストラクターからスキーの技術を教えてもらいました。小学校のスキー教室も中止だったので、生まれて初めてスキーを体験する生徒も多く、最初はあちこちで転んで起き上がれない生徒や寒さに辛そうな表情をしている生徒も見られました。気温が上昇するのと同じように、インストラクターの先生の丁寧な指導によって、どの生徒も見見る上達していく様子が見られました。午前中2時間、午後2時間、けがをしたり体調を崩したりする生徒もなく、雄大な八ヶ岳を眺めながら、終了時刻のぎりぎりまでスキーを楽しんでいました。お昼の食べ放題のカレーライスも、身体を動かしたあとなので格別おいしかったようです。閉校式の中で、私が生徒たちに今日の感想を「楽しかった・辛かった・普通」の3択で聞いてみると、すべての生徒が「楽しかった」に手を挙げ、感想発表では「また、家族でもスキーに来てみたい」との話もありました。



峡南地区の中学校でスキー教室を実施しているのは本校だけです。学校行事の精選が叫ばれている中ですが、以前に比べて家族でスキーに出かける家庭が少なくなっており、山梨県で最も雪の少ない南部町にある本校では、スキー教室を続ける意義はあるのではないかと私は思います。帰りのバスで、満足したような笑顔で寝ている生徒たちの姿からそんなことを感じました。

## 生徒会事務局(本部役員)が動き出しました

生徒会選挙の結果を受け、1月27日の朝、村松士輝選挙管理委員長より生徒会長・副会長に当選証書の授与が行われ、生徒会長から書記、議長、総務を担当する役員を発表がありました。私からは生徒会事務局(本部役員)8名に認証状を渡しました。生徒会事務局のメンバーは次の通りです。

生徒会長	： 遠藤夏奈さん(2年)	
生徒会副会長	： 石原あゆみさん(2年)	山本庚実さん(2年)
生徒会書記	： 仲亀寛人さん(2年)	望月心愛さん(2年)
生徒会議長	： 四條実梨さん(2年)	渡辺れのんさん(1年)
生徒会総務	： 木内太一さん(1年)	



この8名がリーダーとなり、新しい南部中生徒会の活動が始まります。これまでの先輩たちが築き上げてきた南部中文化を継承しながら、4月に入学してくる新入生も含めて13年目となる新しいメンバーで、自分たち独自の考えやアイデアを生かして、自分たちの色の新たな生徒会活動を展開してくれることを期待しています。

すでに、生徒会最初の大行事「3年生を送る会」の取り組みがスタートしています。1月19日には、生徒会事務局、1・2年の学級会長・副会長、応援委員代表による第1回の実行委員会が開かれ、目的や大まかな内容が話し合われました。テーマは「つなぐ」に決まり、総務、記念品、スライド、招待装飾、応援の5つの部門の活動も始まりました。3年生は最も大切な受験シーズンのただただ中にあることから、引き続き感染症対策をとりながらの取り組みになりますが、感動できる会になることを期待しています。

# 新年の本校生徒たちの活躍

## 第25回山梨県ジュニアバレーボール大会

男子バレーボール部

予選Hパート 山梨北中と一宮中とともに 2-0 で勝利

決勝トーナメント 塩山中に 2-0, 準決勝で押原中 A に 2-1 で勝利

決勝で日本航空中に 0-2 で敗退

**準優勝**

※市川瑛士さんは敢闘賞を受賞

女子バレーボール部 予選Pパート 塩山中に 2-0 で勝利, 甲府城南中 B に 1-2 で敗退

## 第72回教育祭県下小中学校書きぞめ大会

県特選 1年: 木内太一, 坂本悠真

2年: 若林実希

3年: 倉橋靖成, 樋口あい, 望月己嘉, 渡辺萌日香

地区入選 1年: 青山圭悟, 遠藤夏弥乃, 小倉陸, 門田輝流青, 佐々木絆那, 志村凜, 千頭和涼大, 望月愛來, 望月咲, 望月嘉斗, 望月里帆, 森田琉輝有, 渡辺れのん

2年: 市川瑛士, 入月亜子, 岩本奈砂, 遠藤夏奈, 遠藤はな, 四條実梨, 瀧井ひなの, 竹中ミク, 古屋祐磨, 望月新菜, 山本庚実

3年: 芦川圭澄, 芦澤那奈, 柿島瑛心, 草場珂奈, 佐野結菜, 田中景晨, 千頭和大夢, 長坂榛音, 前栗藏裕渥, 横山海琉, 依田大輝

この6人だけで、全試合  
を戦い抜きました



## 男女のバレーボール部を支えてくださっている方々

本校の男女のバレーボール部は、峡南地区はもちろん、山梨県の中でも活躍しており、男女とも関東大会にも出場したことがあります。

(今年度は男子が出場) スポ少から経験している部員もいますが、中学からバレーを始めて活躍している生徒もいます。その男女のバレー部を支えてくださっているのが外部指導者の望月樹さんと三澤好希さんです。望月樹さんは、統合時から男子の外部指導者となり、3月で12年になります。(その前には5年ほど富河中でも外部指導者をされていました) 三澤好希さんは平成30年度から女子の外部指導者になり、3月で5年になります。三澤さんの3人のお子さんも本校の男女のバレー部員として活躍しました。本校のバレー部が長い間、県内外で活躍できるのは、一生懸命取り組んでいる部員たちの力、それを指導している顧問教師、応援してくれるご家族や地域の方々があることはもちろんですが、望月樹さん、三澤好希さんという熱心な外部指導者の大きな力があるからです。ご自身のお仕事もありながら、土日の部活動やたくさんの大会、夜の自主参加のクラブまで、生徒たちを熱心に指導し、生徒たちにバレーボールの技能を高めてくれると同時に、スポーツのすばらしさを教えてくださっています。「チーム南部中」を支える大切なお二人です。



↑ 望月樹コーチ



↑ 三澤好希コーチ

## ちょっと心が温まるお話

1月15日の日曜日に、町役場に「中学生らしい子ども2人がアルカディア線のゴミ拾いをしています。」と地域の方から情報が入ったそうです。テニスラケットを持っていたとのことで、調べてみると、その2人は2年生の田中海成さんと仲亀寛人さんでした。2人が言うには「駅伝大会に向けての練習でアルカディア線を走っていると、たくさんのゴミが落ちていました。2人で相談して、学校が休みの日にゴミ拾いをすることになり、15日にやりました」と。さらに、「ゴミ袋2つほど集めたのですが、まだ、拾いきれなかったため、学校が早く終わる17日の午後にまた拾い集めに行く予定です」とのこと。地域のために自分ができる事を考えて、大人でもなかなかできないことを中学生2人がしてくれたことに心がとても温かくなりました。17日にもさらに2袋のゴミを集めたそうです。海成さんや寛人さん以外にも、私たちが知らないところで、地域の人々のために行動している生徒が、本校にはきっといるんじゃないかなと思っています。